2021.5.31

安全データシート

作成日：2021年5月31日

1.化学品及び会社情報

製品の名称：そのまま使えるジアワイプ
会　　社：ハクゾウメディカル株式会社
住　　所：大阪府大阪市中央区徳井町2-4-9
担 当 部 門：研究開発部
電 話 番 号：06-6942-0390
ファックス：06-6942-2662

2.危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険	引火性液体	区分：分類対象外
	爆発物	区分：分類対象外
	自己反応性化学品	区分：分類対象外
	酸化性液体	区分：分類対象外
	有機過酸化物	区分：分類対象外
	金属腐食性物質	区分：区分 3
健康に対する有害性	急性毒性（経口）	区分：区分 4
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分：区分 2
	生殖細胞変異原性	区分：分類できない
	発がん性	区分：分類できない
	生殖毒性	区分：分類できない
	特定標的臓器・全身毒性	区分：分類できない
環境に対する有害性	水生環境急性有害性	区分：区分 2
	水生環境慢性有害性	区分：分類できない
	オゾン層への影響	区分：分類できない

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語　　危険

危険有害性情報　　有毒ガス発生の恐れ：強酸化性
金属腐食の恐れ
呼吸器への刺激の恐れ

注意書き［安全対策］
すべての注意書きを読み理解するまで取り扱わないこと。
衣類及び他の可燃物から遠ざける。
適切な保護手袋及び保護眼鏡、保護面を着用すること。
可燃物と混合を回避するために予防対策をとること。
ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
取り扱い後はよく手を洗うこと。
他の容器に移し替えないこと。
容器を密閉しておくこと。
河川・海に投棄しないこと。
［応急処置］
物質被害を防止するため流出したものを吸収すること。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと、コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。
皮膚又は毛髪に付着した場合：
多量の水と石鹸で洗うこと、汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。
吸入した場合：　被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。ばく露又はその懸念がある場合は医師の診断、手当を受けること。
［保管］
容器を密閉して、換気の良い冷暗所で保管すること。
施錠して保管すること。
［廃棄］
内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

GHS 分類に該当しない他の危険有害性
酸との接触による分解により発生する塩素ガスによる急性毒性
1）腐食性があり、酸性溶液との混合で塩素ガスを遊離して皮膚、粘膜を刺激する。
2）眼に入った場合は刺激性の痛みを感じ、直ぐに洗い流すこと。
3）長期にわたって皮膚に接触する刺激により湿疹を起こす。
4）次亜塩素酸ソーダ液のミストを吸入すると気道粘膜を刺激するため注意を要する。
誤って飲み込んだ場合、口腔、食道に刺激を受ける。
河川等に流れ込むと生態系に影響を与える。

重要な兆候 金属を腐食する。紫外線により分解が促進される。

3.組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物
化学名又は一般名　　：次亜塩素酸ナトリウム（不織布に含まれている）
化学式　　：NaClO
CAS　No.　　：7681-52-9

4.応急措置

眼に入った場合：
流水で 15 分以上洗い流した後、直ちに眼科医の手当を受けること。その後も洗浄を続けること。
皮膚に付着した場合：
化学物質が除去されるまで、多量の水と石鹸で洗うこと。
吸入した場合：
新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
飲み込んだ場合：
口をすすぎ、多めの水、牛乳を飲む。
予想される急性症状及び遅発性症状：
データなし
最も重要な兆候及び症状：
データなし

5.火災時の措置

消火剤
小火災：　散水
大火災：　散水、酸性の消火剤は避ける。
使用してはならない消火剤：情報なし

消火方法：　散水
消火者の保護：　消火作業の際は適切な保護具（耐熱着衣、呼吸保護マスク）を着用する。
特有の危害有害性：酸類と反応することがある。
漏れるとガス発生の危険がある。
消火水や希釈水は環境汚染を引き起こす恐れがある。

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置：
腐食性があり保護具を着用する。

環境に対する注意事項：

河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

漏洩物を回収し、後で大量の水を用いて洗い流す。

還元分解などの措置を講じる。

封じ込め及び浄化の方法・機材：

漏れを止める。

少量の漏れであれば、多量の水で洗い流す。

大量の漏れであれば、下水溝、河川等に流入しないようにする。

二次災害の防止策：

排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐこと。

7.取扱い及び保管上の注意

取扱い上の注意

技術的対策：　換気の良い所で使用し、使用後は必ず密栓すること。

ばく露防止のために、皮膚、眼、顔を保護する適切な保護具（保護手袋、保護マスク、ゴーグル等）を着用する。

取り扱い後は、手洗い、うがい、洗顔を十分に行う。衣類に付着した場合は着替える。

保管上の注意：　容器は密栓し、直射日光の当たる場所や高温になるところを避け、風通しの良い冷暗所で保管する。

保管は高温物と接触する場所を避ける。

塩化ビニル、ポリエチレン等の容器を使用する。

8.物理的及び化学的性質

外観・形状：	無色透明な液体
臭気：	微量の塩素臭
溶解度：	水に溶解
融点：	-1℃
沸点：	100℃
密度（比重）：	1.00
pH：	11.4～12.0
引火点：	データなし
発火点：	データなし
爆発範囲：	データなし
蒸気圧：	データなし
自然発火温度：	データなし
分解温度：	データなし
蒸発温度：	データなし

燃焼性：　　データなし
粘度：　　データなし

9.ばく露防止及び保護措置

管理濃度：　　未設定
許容濃度：　　未設定
設備対策：　　この物質を貯蔵ないし取り扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。
作業場には（防爆タイプの）全体換気装置、局所排気装置を設置すること。
保護具
呼吸器用保護具：適切な呼吸保護具を着用すること。
眼の保護具：　適切な保護眼鏡を使用すること。
皮膚の保護具：　適切な保護手袋等を使用すること。

10.安定性及び反応性

安定性：　　通常条件では安定、熱、光、金属などに対して不安定。
危険有害反応可能性：
弱酸・強酸と反応して微量な塩素ガスが発生する可能性がある。
避けるべき条件：　硫酸、塩酸、硝酸、酢酸、クエン酸等の酸類及び有機物、金属粉末等と反応を起こし有効塩素を失う。
混触危険物質：　各種弱・強酸化剤
危険有害な分解生成物：
酸との混合により微量の塩素ガスが発生する。

11.有害性情報

急性毒性
経口：推定幼児経口致死量　750mL～1,500mL（5%次亜塩素酸ソーダから換算）
経皮：データなし
吸入：データなし
皮膚腐食性・刺激性：
ヒトの皮膚、眼に対する刺激、高濃度では薬症を示すとあるが、他の記載はなくデータ不足のため分類できない。
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性：
ヒトの皮膚、眼に対する刺激、高濃度では薬症を示すとあるが、他の記載はなくデータ不足のため分類できない。
呼吸器感作性：　情報なし
皮膚感作性：　　情報なし
生殖細胞変異原性：情報なし

発がん性：　情報なし
生殖毒性：　情報なし
特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）：
「吸入により、鼻、喉の刺激、咳、呼吸困難を誘発する」とあるが詳細不明で判断できず、情報不足のため分類できない。
特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）：情報なし
吸引性呼吸器有害性：情報なし

12.環境影響情報

生態毒性
水生環境急性有害性：
当該製品のデータは無いが、次亜塩素酸ソーダの魚毒性により、排水を未処理の状態で河川に投棄してはならない。
魚類：　LC_{50}/96時間、ファッドヘッドミノウに対し5.9mg/L。
甲殻類：　LC_{50}/96時間、グラシュリンプに対し52.0mg/L。
藻類：　情報なし
その他の生物：　情報なし
残留性・分解性：残留するが、有機物と反応して分解される。
土壌の移動性：　情報なし
生態蓄積性：　情報なし

13.廃棄上の注意

関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体が処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
汚染容器及び包装：容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14.輸送上の注意

国際規制
IMDG（国際海上危険物規制）コード：5.1
国連番号：　1791
品名（国連輸送名）：
次亜塩素酸ナトリウム
国連分類：　クラス 8（腐食性物質）
容器等級：　Ⅱ（ただし、有効塩素濃度が 5 重量%を超えるもの）
航空規制物質：　腐食性物質

海洋汚染物質：　腐食性物質

ICAO-TI（国際民間航空機関紙術指針）：積載禁止

国内規制

陸上輸送：　消防法に該当する数量以上を輸送する場合は法令に従って輸送すること。

海上輸送：　船舶安全法の規定に従う。

安全対策：　取り扱い及び保管上の注意の項の一般的注意に従うこと。
容器は転倒、転落、衝撃などを避けること。
容器は温度の上昇を防止すること。

15.適用法令

労働安全衛生法：　通知対象物に該当しない

化学物質排出把握管理促進法（PRTR 法）：
該当しない

毒物及び劇物取締法：
該当しない

消防法：　該当しない

船舶安全法：　腐食性物質

航空法：　腐食性物質

16.その他の情報

引用文献等

配合原料の SDS（安全データシート）

日本ソーダ工業会編　“次亜塩素酸ソーダ SDS”

日本ソーダ工業会編　“安全衛生手帳 2002”

日本ソーダ工業会編　“次亜塩素酸ソーダ輸送設備取扱いマニュアル”

産業衛生学雑誌

化学工業日報社編　“化学品安全管理データブック”

各関連法規

記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。また、注意事項は通常の取扱いを前提としたものなので、これらを参考にして、自らの責任において、個々の取扱いにおいて適切な安全策・適切な処置をとられますよう、お願いします。